

平成31年度横須賀地域の関係機関における小児在宅に係る取組内容（案）

資料5

番号	課題詳細	考えられる取組み		提案機関 主たる機関（案）	協力を得たい関係機関（例） ※（）で記載されたものは会議 委員外の関係者を含むもの	平成30年度	平成31年度スケジュールイメージ				備考
		項目	詳細			第4四半期 （2月～3月）	第1四半期 （4月～6月）	第2四半期 （7月～9月）	第3四半期 （10月～12月）	第4四半期 （1月～3月）	
—	横須賀地域小児等在宅医療 連絡会議の実施	横須賀地域の関係機関が地域の課題や取組みにつ いて意見交換を行う	県医療課 こども青少年支援課	関係各機関	会議開催 （2/28） <検討事項> ・必要な取組みの検討 ・実施可能な取組みの具体化			会議開催 （10月頃）	会議開催 （2月頃）		

ネットワーク・サポート体制構築

1	決まった調整役がない	相談窓口等の設置・紹介	年齢に合わせた相談窓口の紹介、支援事業所との 契約 （保護者の情報量は豊富であっても、個性があり、 他社と比べにくい。ライフステージに合わせ、 窓口を明確にしていく必要がある。）	横須賀市立うわまち病院	横須賀市、（各相談支援事業所） など		実施について検討			状況報告	状況報告	
2	決まった調整役がおらず、 また個性も高いため、 情報集約や事例積み重ねが困難	相談窓口等の設置・紹介	はぐくみ館を中心とした子育て支援総合窓口の検 討	社会福祉法人 海風会	横須賀市－子育て支援に関する関係部 署		実施について検討			状況報告	状況報告	
3	小児在宅に関するバック アップ体制不足	中核機関の設置	新たに、重症心身障害児者及び重度重複障害児者 に特化して対応できる機関の設置。（発達支援セン ター・・・医療型）	社会福祉法人 みなと舎	横須賀市、関係機関 など		実施について検討			状況報告	状況報告	
4	決まった調整役がおらず、 また個性も高いため、 情報の集約や事例積み重ねが困難	①制度の理解、勉強会等 ②関係機関の持つ情報の集 約	同左	横須賀市医師会	横須賀市、関係機関		実施について検討			状況報告	状況報告	
5	支援者同士の分野を超え た横の繋がりの不足	情報共有の場の設置	支援に携わっている現場レベルの職員が、情報を 共有出来る機会を設ける	社会福祉法人 海風会	学校、（各福祉サービス事業所、訪問 看護事業所、障害とくらしの支援協 会こども支援連絡会） など		実施について検討			状況報告	状況報告	
6	支援者同士の分野を超え た横の繋がりの不足	検討会の実施	各種検討会の積み重ねを行う	よこすか訪問看護ステー ション	各関係機関		順次実施				状況報告	状況報告
7	①決まった調整役がない ②ライフステージ切り替 わり時の繋ぎ・連携	保護者支援、連携調整の実 施	① 乳幼児期の支援 ② 退院時の医療と地域の連携調整	こども健康課	療育相談センター 障害福祉課 市医師会 （各福祉施設） など		順次実施				状況報告	状況報告
8	支援者同士の分野を超え た横の繋がりの不足	相談体制の充実	<行政・相談支援事業所との連携> 医療的ケア児の重症指針障害児の相談体制の充実 を図る（療育手帳の申請・更新・重心認定）	横須賀市児童相談所	横須賀市関係部署 うわまち病院 市医師会 など		順次実施				状況報告	状況報告
9	連携ルートが見えづらい	各種研修等の実施	地域包括ケアシステム推進のために実施してい る、市民啓発、各職種の連携推進、人材育成のため 研修等の枠組み利用	地域医療推進課	市医師会、その他関係機関など		順次実施				状況報告	状況報告
10	小児等在宅医療（医療的 ケア含む）に関する情 報の少なさ	研修会等への参加 在宅医療委員会で検討	同左	横須賀市医師会	うわまち病院、 横須賀共済病院 訪問看護ステーション 小児科医会		順次実施				状況報告	状況報告
11	支援者同士の分野を超え た横の繋がりの不足	連絡会議、ケース会議の実 施	横須賀地域の方が県総合療育相談センター外来を 利用された場合に、関係者でのケース会議を実施し て支援機関のつながりを作る。	県総合療育相談センター	—		順次実施				状況報告	状況報告
12	サービス利用に結び付い ていない方に手を差し伸 べることが困難	福祉用具体験会の実施	医療的ケア児を抱え得る家族は、インターネット等 で情報を得ることができても、移動等の課題により 体験をする場が乏しい。そこで、福祉用具業者にご 協力いただき、特別支援学校等を会場として、福祉 用具体験会を開催したい。	神奈川県総合リハビリテー ション事業団	横須賀市関係部署、特別支援学校、療 育相談センター、（各相談支援事業 所）		実施について検討			状況報告	状況報告	

平成31年度横須賀地域の関係機関における小児在宅に係る取組内容（案）

資源不足

13	一時預かり場所の不足	連携調整の実施	乳幼児期の支援を通じた関係機関の連携調整	こども健康課	療育相談センター 障害福祉課 市医師会 (各福祉施設) など	順次実施					
									状況報告	状況報告	
14	一時預かり場所の不足	放課後等デイサービス勉強会の実施	医療的ケア児を受ける事業者が増えるように、現在受け入れている事業所の勉強会等を実施する	横須賀市療育相談センター	(市内の事業所等)	実施について検討					
									状況報告	状況報告	
15	一時預かり場所の不足	①事業所に対する支援 ②新規施設の設置	①ライフゆうへの市としての支援(レスパイト枠の拡大) ②うわまち病院移転時の施設拡大(重心施設設置)	横須賀市立養護学校	ライフゆう、うわまち病院、市役所関係部署 など	実施について検討					
									状況報告	状況報告	
16	移動支援(福祉サービス)が利用できない	移動支援の充実	①移動支援のサービス報酬に医療ケア加算を設ける ②訪問看護ステーションに移動支援事業者になってもらう ③医師のバックアップを得る	横須賀市障害福祉課	(各移動支援事業者、訪問看護ステーション、医療機関) など	実施について検討					
									状況報告	状況報告	
17	移動支援(福祉サービス)が利用できない	看護師確保に向けた取組み	①報酬面だけでなく、勤務時間について理解を求め、子育て世代等の潜在的な看護師確保に努める	横須賀市教育委員会 支援教育課	(各訪問看護ステーション) など	順次実施					
									状況報告	状況報告	
18	教育場における看護師確保が困難	看護師確保に向けた取組み	①報酬面だけでなく、勤務時間について理解を求め、子育て世代等の潜在的な看護師確保に努める ②市立養護学校の看護師と連携が取れるようなシステムの確立	横須賀市教育委員会 支援教育課	(各訪問看護ステーション、)市立養護学校 など	実施について検討					
									状況報告	状況報告	
19	小児に対応できる訪問看護ステーションの増への課題	看護師確保に向けた取組み	①看護師の研修の場の一つとして市養護学校の活用(訪問看護ステーション看護師・市所属看護師等) ②市養護学校の看護師数増	横須賀市立養護学校	(各訪問看護ステーション)、市役所関係部署 など	実施について検討				小児対応ステーションの増、学習保障、通学保障にも関係	
20	小児に対応できる訪問看護ステーションの増への課題	看護師確保に向けた取組み	小児の訪問看護を行っているステーションでの同行訪問、実習	よこすか訪問看護ステーション	(訪問看護ステーション、障害施設)	順次実施					
									状況報告	状況報告	
21	医療デバイスの量差や当事者の三次病院への依存	退院支援の実施	三次病院から二次病院を経由して、訪問診療につなげてから自宅に退院する	横須賀市立うわまち病院	(大学病院、)こども医療センター、市医師会 など	順次実施					
									状況報告	状況報告	
22	小児への訪問診療が浸透していない	在宅医に対するバックアップ体制不足の解決	①在宅医から病院小児科医に対する相談体制を整える ②在宅医療委員会で検討	横須賀市医師会	うわまち病院 横須賀共済病院 訪問看護ステーション	実施について検討					
									状況報告	状況報告	
23	①小児への訪問診療が浸透していない ②障害に理解のある小児科医の不足	(再掲) 各種研修等の実施	(再掲) 地域包括ケアシステム推進のために実施している、市民啓発、各職種の連携推進、人材育成のため研修等の枠組み利用	地域医療推進課	市医師会、その他関係機関など	順次実施					
									状況報告	状況報告	
24	人材育成研修の不足	各種研修等の実施	心身障害児療育機関職員を対象とした「心身障害児療育普及研修」「早期療育普及研修」を継続する	県総合療育相談センター	-	順次実施					
									状況報告	状況報告	
25	一時預かり場所の不足	短期入所事業の実施	診療所の空床を利用した重症心身障害児者及び肢体不自由児を対象とした短期入所事業を継続する	県総合療育相談センター	-	順次実施					
									状況報告	状況報告	

平成31年度横須賀地域の関係機関における小児在宅に係る取組内容（案）

実態把握

26	決まった調整役がおらず、また個別性も高いため、情報集約や事例積み重ねが困難	① 会議体等の設置 ② 中核機関の設置	① 関係機関との連携会議 ② 中核機関の設置 (発達支援センター・医療型) ※	社会福祉法人 みなと舎	横須賀市、関係機関 など	実施について検討			状況報告	状況報告	※ 人口40万人の中、発達支援センターが1か所では様々な障害状況を抱えた子供たちへの窓口としては現状でも把握困難
27	決まった調整役がおらず、また個別性も高いため、情報集約や事例積み重ねが困難	実数把握・実態把握調査の実施	① 診療報酬を元にした実数調査 ② アンケート形式の実態調査	① 県医療課 ② 県障害福祉課	関係各機関	順次実施			状況報告	状況報告	

その他

28	災害対策	非常時の電源確保	非常時電源確保のための設備。機器（自家発電機、無停電電源装置、予備用の複数のバッテリーなど）を日常生活用具の補助対象項目に追加する。	横須賀市障害福祉課	健康福祉センター、（各訪問看護ステーション・医療機関） など	実施について検討			状況報告	状況報告	